

# 所内に「CSマインド」が浸透

## 各部門から優れた改善事例を発表

CS・改善表彰所長賞

10月31日、CS・改善表彰所長賞の発表会が行われた。本発表会も今回で4回目。所内にもCSマインドが浸透し、どの発表案件も各部門の活動の実態を象徴するような優れた事例ばかりであった。

社内外の審査員12名による審査の結果、最優秀賞は造船設計部とプロジェクト推進部の2件が選定された。最優秀賞の2件同時受賞は初めて。

また、パートナー案件は、コンソールデスクの標準化を提案、共同して開発を進めたメックシステム(株)の事例が標準化の参考事例として紹介された。



所長賞を受けた発表者の皆さん

### <発表案件と発表者>

- ①資材部・森山主任「納品受付センター設置」
- ②造船設計部・三森主任「造船用3次元ビューワの活用による生産プロセス変革支援」
- ③プラント技術部・大野主任「日本原燃(株)六ヶ所再処理工場における復旧対策」
- ④プロジェクト推進部・浅田主幹「タイ・B L C P 向け石炭焚火力発電所の採算大幅改善」
- ⑤メックシステム(株)・寒川龍氏、プラント技術部・松浦主任「オペレーターコンソールデスクの標準化」(パートナーと社員の共同発表案件)

発表会后、表彰式と懇談会が9F一般来客食堂で行われ、おおよそ90名が集まる中、それぞれの発表者に所長から賞状と副賞が手渡された。



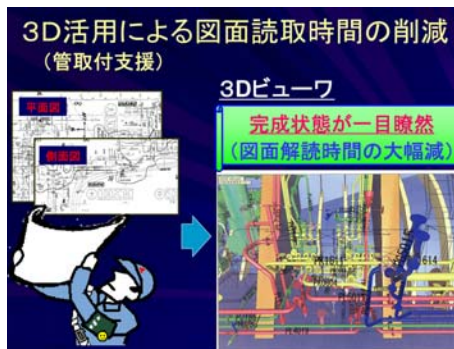
所長から表彰状を受ける発表者

### <最優秀賞の概要>

#### 「造船用3次元ビューワの活用による生産プロセス変革支援」

3D-CADで作成された立体的な配管や船体構造などの設計情報を工作で徹底活用するために、3次元的に画面表示する3次元ビューワの整備などのIT化を推進し、生産プロセス変革を支援した。工作部と一体となってシステム改良を積み重ねるとともに、現場に進出して運用を支援。工作部にとって真に役立つツールとした。

開発・改良により、図面読取時間が大幅に削減でき、かつ不具合箇所の早期発見による完成度アップを実現。また、艤装品取付リストの表示による物揃え時間短縮も図った。「分かり易い3次元表示で仕事がしたい、ひとつの図面で仕事がしたい」という工作の長年の夢をIT活用により実現した。



造船設計部の発表資料から

#### 「タイ・B L C P 向け石炭焚火力発電所の採算大幅改善」

F T Kプロジェクトの競争力強化と最適運営を迫及し、タイ・B L C P 向け石炭焚火力発電所の建設にあたり強固なプロジェクト体制を敷いた。また、プロジェクト責任者が運営方針を関係者へ徹底することで、整然としたプロジェクト運営を行なった。

同時に、全体最適とフロントローディングも併せて行い、システム化した管理ツールにより、お客さまも含めた関係者全員で綿密なコミュニケーションを実施。様々な改善提案を実現することで結果的に大幅な工期短縮と採算改善を行なった。



プロジェクト推進部の発表資料から